

NPO法人熊本まちなみトラスト 例会／第 31 回理事会議事録

- 日 時 2019 年 7 月 22 日(月)18:30～20:30
- 場 所 熊本大学まちなか工房
- 参加者 理事 13 人(委任出席を含まず)、会員 2、事務局員 1人 計 16 人
委任状出席=3 を加えた理事出席者数 16 人(理事総数 25 人中)

【報告事項】

- (1)事務局会議
- (2)清永部会
- (3)住友部会
 - ①市とカーリーノの間での具体的な動きはないが、都市整備景観課は 3 条運用先進自治体を視察するなどし、条例制定の準備をされている
 - ②PS カーリーノ合同イベントは 10 月が望ましいが、10 月からラグビーW 杯が始まる
- (4)認定 NPO に向けた取り組み
 - ①熊本市担当課に相談 当団体の計算例もお示しいただき真剣にアドバイスをしていた
 - ②「公益性」と「文化財」がポイント
- (5)復興イベント
 - ①明八橋イベントは新町古町の地元団体に呼びかけを続けている
 - ②PS カーリーノイベントは前掲
- (6)事務局からの報告
 - ①火の国会議(震災後ボランティア団体の連絡協議会)への参加
 - ②被連協アンケートの準備 前回理事会でアンケート票説明・・・その後動いていない
 - ③定期刊行物: 第 1 号の編集進めている／9 月、3 月発行予定
- (7)その他(行事予定)
 - ①山鹿建築士会 文化財復旧復興視察 7/27(土)
 - ②シリアからの文化財復旧復興視察 8/1(木) 東京文化財研究所が招聘(矢野理事から)
 - ③産業遺産研究会総会 8/3 14:00 辻理事講演
 - ④聖心女子大 先生と学生 文化財復旧復興視察 8/11(日)
 - ⑤宇城市観光協会との共催「サンカクドライブ」恒常化
 - ⑥西港ファンクラブお掃除会 8/25
 - ⑦肥後五か町(まち)シンポジウム《基調講演:永青文庫今村准教授》10/26(竹田理事)
 - ⑧熊本市博「甲斐青ビヨウと熊本の街」講演と待ち歩き 10/26(伊藤理事長、富士川理事)
 - ⑨日本都市計画家協会から出前講座の共催依頼(別紙)
 - ⑩2020-03-7、8 日 日本建築学会九州支部大会が熊本大学で開催 日韓シンポも

【審議事項】

1. 企業・市民への呼びかけ文書（説明：事務局・富士川）

－総会決議を受けた財政基盤の強化に向けて－

(1) 総論

- ①(事務局)人件費の捻出が難しく休眠状態に陥る団体は多い
- ②ナショナルトラストのような団体のイメージではまずいのか
(そのへんはこれまでにだいが議論したはず)
- ③今問題にしていることは、我々が死に絶えた後(リタイアした後)も熊本まちなみトラストが存続する(組織の持続可能性)ために今何をやるべきか、ということ
- ④「公益性」を強く打ち出すことが肝要

(2) 入会のお願い

- ①P2～P4(と年表・写真)は「資料」として議論の余地はあるが・・・
- ②維持会員として年会費 5 万、10 万出して下さい、という「入会のお願い」書が必要
- ③お金を出す値打ちがありますよ、というバックデータが P2～P4(と年表・写真)か

(3) P3 今後の活動、方向づけ

- ①金沢や倉敷と違い、企業が文化にお金を出すという風土が弱い
- ②「城下町の活性化」を打ち出す
- ③新町古町は市民全体の財産だからお金を出してもらいたい、という訴え

(4) 100 年企業 という発想

- ①トラストの会員、会友には 100 年以上続く企業がある
亀井通産、清永本店、吉田松花堂、長崎次郎書店、野田市兵衛商店・・・
- ②企業の持続可能性をお手伝いする、という切り口はどうか
- ③持続可能性をお手伝いする、というよりは長寿企業の顕彰か
- ④顕彰することが、持続可能性をお手伝いする、につながる
- ⑤「続く 100 年の為に～PS オランジュリイは 2019 年、100 周年を迎えます。～」という復旧
工事中の掲出サインには大いに勇気付けられた
- ⑥このへんのところ、(地元企業史に詳しい)幸田理事、工藤理事の知恵を借りよう

(5) P4 活動目標

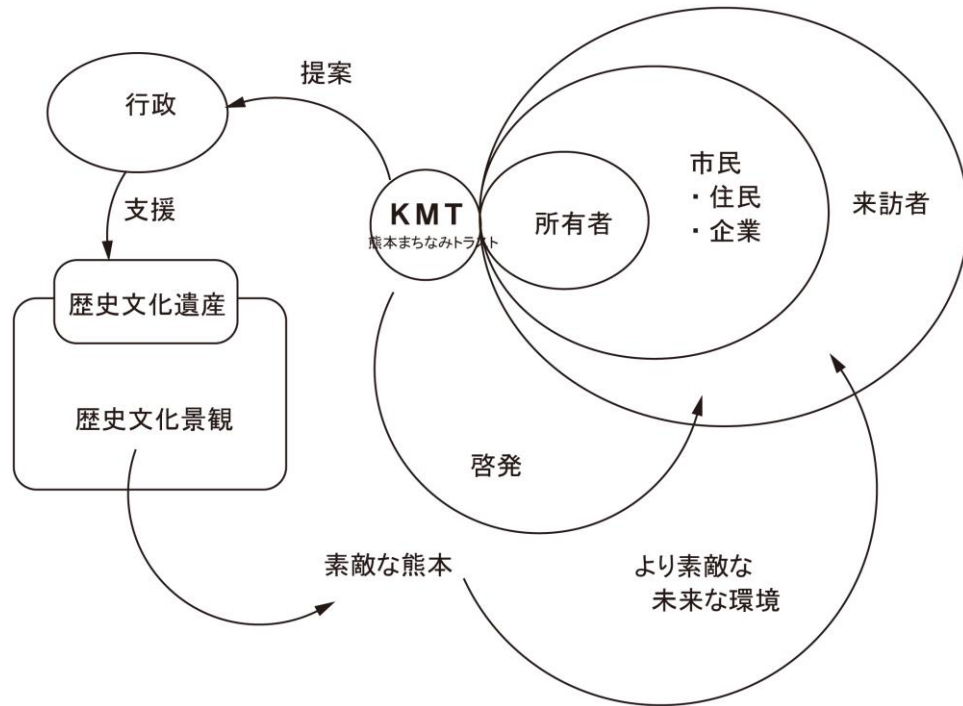
- ①「震災」に引っ張られすぎ
- ②未来遺産、ビンテージビルという不動産価値を高めるための活動、という切り口も
- ③会社や企業をメインターゲットに置いた書きぶり
- ④具体的なターゲットにあらかじめ少しあたってみてはどうか

(6) P4 活動目標の図代替案(青木理事)

(5) P4 活動目標の図(青木理事の代替案)

- ①熊本まちなみトラストが活動することで「より素敵な熊本」が実現しますよというイメージ
が欲しい

②原案は循環しないが・・・ →スパイラルに進化するイメージにしたい



2. 今年度活動と部会再編

審議時間 15 分

- ①アーカイブ班の対象は建物のアーカイブと活動のアーカイブがあるが、建物の実測調査などにも取組みたい(みんなで出かけていって調査する、とか)
- ②県大 GP では、デザインコードを探し出す作業を進めているが、ビフォーアフターの図面が欲しい
- ③財務組織強化と広報は大きくりで例えば総務部会でいいのでは→その中に 1) 財務、2) 組織、3) 広報 がある
- ④一番下に「事務局」を入れる

次回例会/理事会 予定

2019(令和元)年 8 月 26 日(月) 18:30 於:熊本大学まちなか工房